

平成28年10月14日

研修報告書

会派 まつど自民
松戸市議会議員
大塚 健児

研修:バスケットの街づくりの経緯と概要について

主催:秋田県能代市

日時:平成28年10月14日(金) 9時~10時半

場所:能代市役所二ツ井町庁舎 会議室1階

【研修報告】



●バスケットの街づくり事業に至った経緯について

- ・能代市は体操、バレーボール、野球など各スポーツにおいて著名選手を輩出
- ・能代工業高校のバスケットボール全国優勝が30回(当時)を超え、全国知名度の高まり
- ・国の「ふるさと創生事業」を契機に、「誇りと愛着の持てるふるさとづくり」を目指す

●計画の策定概要

- ・平成13~14年度にかけて、『新バスケットの街のしろ推進計画』を策定
- ・みんなが参加するバスケットの街
- ・バスケットの街のPR・イメージづくりを進めるなど

(課題が浮き彫りに……)

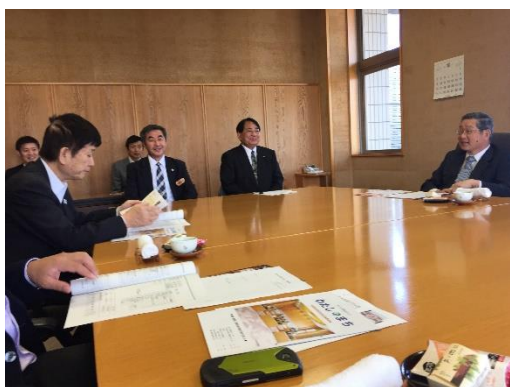
底辺拡大は進んだが、市民意識が能代工業高校バスケット部の戦績に左右される。

そこで、時代にあった新策定計画の必要性が高まる。

●新策定計画について

- ①能代バスケミュージアムの開設
- ②市民チャレンジ事業補助金の創設
- ③バスケの街づくり推進委員会の設置
- ④能代工業高校バスケ部への玄米支援(市・JA)
- ⑤小学生バスケ体験及び中学生スキルアップ事業への支援
- ⑥能代市と秋田ノーザンハピネッツとの連携・協力に関する協定締結(H28.6.21付)

※平成24年からスタートしたばかりで現在様々な角度から検証しているとのことです。



(まとめ)

県立高校を能代市が支援している状況でした。執行部によると、様々な部活動があるなかで、バスケットボールに焦点を絞り、かつ1つの県立高校を支援するということは大変苦労することです。

『思い切った支援』という言葉が適切と話をしていました。

残念ながら秋田県とは、協議会の委員になってもらう程度で、ほとんど支援がない状況とのことです。大変素晴らしい事業と思いますが、最近ではセネガル人要する私立高校の台頭により、全国優勝はしばらく遠のいているとのことです。なんとか選手集め・秋田県との連携等、行政の工夫が引き続き必要であり、一概に素晴らしいとは言い切れない、なんとも複雑な心境でした。

以 上